



ごします。
 大人数での会食会で感染リスクをいかに少なくするか。偕楽荘のスタッフがご利用者の協力を頂きながら開催した長寿を祝う会では、例年は四人掛けテーブルを付けて、一グループの人数を多くしていましたが、今年は四人に限定し、テーブルの間隔も広くしました。乾杯までのセレモニー時間は、職員もご利用者も全員マスク着用です。乾杯！でグラスを合わせるのはアクリル板越し。いつもと勝手が違います。寿司職人が握るお寿司は、選りすぐったネタ



ぞろいで、職員が各テーブルを回り、お好みを取っていただきました。
 余興なしの会食だけでしたが、みなさんに楽しんでいただくことができ、無事に開催することができ、ほっと一安心でした。

戻ってきた「日常」が嬉しい

クラブ活動再開と敬老祝いの会食会



半年ぶりに四クラブが再開

コロナ禍の疲れ癒すか秋夕焼け 久子
 九月十四日午後開催された俳句クラブ野菊会に出されたご利用者の作品です。

振り返れば、今年の一月に国内初の新型コロナウイルス感染症を厚生労働省が確認して以降、感染が拡大し、楽友会としても徹底した感染症予防対策に取り組むことになりました。二月下旬からは、軽費老人ホーム偕楽荘を含む全施設事業所で、ボランティア活動の受け入れ中止やクラブ活動の休止などが始まりました。その後、感染拡大や緊急事態宣言の発令に伴い、偕楽荘のご利用者も外出の自粛など、精神的に疲れる日々が続いていました。

そういう日々の中で、毎朝検温するなど、健康管理に気を付ける、自室の外で活動するときはマスクを着用する、こまめに手洗いや手指消毒をする、「密」を避けるなどに利用者のみならずお一人おひとりが取り組んできました。施設としても、外出自粛の影響でフレイル状態にならないように、看護師を中心に「ゆるゆる体操」という取り組みを新たに始めるなど、様々な工夫をしてきました。また、偕楽荘のような共同生活施設では、

食事の際の感染症予防対策が大きなポイントになってきます。そこで、食堂のテーブルに透明のアクリル板を設置し、対面での食事時における飛沫飛散を極力なくせるようにしました。このことにより、食事時だけでなく、人と人の距離を一定以上取ることが難しい「句会」のような活動も、食堂を使って行えるようになりました。

東京都における新型コロナウイルス感染者数がある程度落ち着き、多摩市における感染者数の増加も緩やかに落ち着いてきたことからの、偕楽荘では九月から俳句、手芸、民踊、機織りの四クラブを再開しています。十月以降も、感染症予防対策をしっかりと行いながら、夢畑の活動などを再開していきます。なお、新型コロナウイルス感染症はまだまだ予断を許さない状況のため、クラブ活動の地域開放は引き続き休止しています。

敬老の日の祝賀食事会 感染症予防しながら楽しく盛大に

偕楽荘ご利用者の一年を通じての最大の楽しみは、新年祝賀会と敬老祝賀会です。季節行事にちなんだ特別メニューもありますが、この二つはお料理の豪華さと、アルコールなどを嗜みながらのおしゃべりや余興で時を過

寄附のお礼

令和2年6月21日から9月20日までに、7件の寄附を頂きました。ありがとうございます。(敬称略)

現金 総額 24万円

山口喜一郎、山本一雄・井田とし枝、本荘茂夫

ビール共通券 合計 210枚

形如式典、東林間歯科

物品 非接触型体温計、車いす、ポータブルトイレ、紙おむつ、防水シート

匿名